

(件 名) 増殖用種苗「アユ」「ウナギ」の安定確保を図るための支援に関する
陳情書

(陳情の要旨)

内水面漁業は、魚類等の食糧の生産と水産資源の維持培養、並びに遊漁など永続的な利活用の推進を行って地域の活性化に貢献しています。

一方、近年頻発する豪雨や台風に起因する洪水等の自然災害、それに伴う河川改修等による河川環境の悪化、かさねて、カワウの食害等は、魚類生息環境を脅かしており、アユの漁獲量は10年前に比べて4分の1以下に減少しております。

また、我々、内水面漁業協同組合は、ウナギの資源増殖にあたり、毎年、義務放流を実施しておりますが、その恩恵であるシラス鰻は、国内外において過去にない不漁が続き、養殖業界は、鰻生産量日本一の県として、今後の生産活動を安定的に持続し、雇用を維持できるか危惧しております。

このように事業活動継続の先行きが不透明な中、種苗代の高騰、養殖経費の高騰、さらに組合員の高齢化など後継者不足及び遊漁者の減少も重なり、県内の内水面漁業協同組合の運営は日増しに厳しさを増してきております。

塩田知事のマニフェストでは、農林水産業従事者の高齢化に伴う後継者不足と歯止めがかからない従事者の減少に対応した、担い手育成、労働者確保対策など総合的な施策を講じ、地域の農林水産業の維持・発展を図ること、また、農林水産業の「稼ぐ力」の向上が掲げられております。

県議会におかれましては、この内水面漁業者の窮状をお察しいただき、漁協の健全運営への支援の後押しをお願いします。

尚、事業要望にあたって勉強会など必要があれば、喜んで出席させていただきますので、何とぞお力添えのほどよろしくお願い致します。

以上の趣旨に基づき、下記事項を陳情します。

記

- 1 県政広報を通じ、内水面漁協活動を広く県内外住民に周知し、遊漁者など親水機会を増やす施策を実施するよう、行政当局への積極的な働きかけをお願いしたい。
- 2 増殖種苗（ウナギ・アユ）の購入が厳しい状況を鑑み、漁獲量や生産量が安定的に確保されるまでの当面の間、資源培養に係る放流用種苗の購入費助成について、行政当局が早急に事業整備するよう、後押しをお願いしたい。